

## 姫路市広嶺山の蛾(1)

(兵庫県産蛾類分布資料・6)

高島 昭

この地域の原植生は常緑広葉樹林であるが、隆起準平原に由来するこの地域の山は流紋岩質あるいは花崗岩質で地味も貧弱で、アカマツを主体とした極めて貧弱なフロラであるため、生息する昆虫、とくに森林生活者である蛾の分布状況は、種類数も少なく普通種がほとんどであると思われる、木村(1984)でもその様相が伺える。

また西播南部の低山地、とくに姫路市の蛾については、詳しく調査された報告例が少なく、調査が行き届いていないだけに思いもかけない種にめぐり会える可能性もある。

このようなことから、姫路の蛾を一度調査する必要性を感じていたところ、1996年夏、広嶺山付近で若干の蛾を採集する機会を得た。

6月23日には、播磨空港建設にかかる環境調査が行われることになり、県立人と自然の博物館から姫昆への調査協力依頼があった(サロンニュースNo. 120で速報)。この調査は主に蝶の生息状況の調査が種であったが、これに合わせてその前夜、A氏とともに広嶺神社参道の鳥居付近で夜間採集を行った。また、23日当日は、広嶺山からそうめん滝への尾根道での調査の傍ら、飛び出した蛾を採集した。また、この時、夜間採集を行えばよさそうなポイント(広嶺山神社奥約1kmの無人観測所付近)があり、是非一度実施してはという声が多く、7月6日に決行した。姫昆メンバー(A氏、I氏、S氏、M氏)とともに兵庫県立人と自然の博物館の中西教授と八木研究員も加わり、7日未明まで酒を酌み交わし虫談義の花が咲いた。

この夜は、あいにく満月でしかも夜半から風が強くなり、気温も低く長袖シャツでも寒いという最悪のコンディションであったが、結構虫たちは現れ、それなりの成果があった。

十分な調査とはいえず系統だった蛾相の解明とはいかないが、とりあえず報告させていただく。

配列は、講談社の日本産蛾類大図鑑によった。

また、注目すべき種には簡単な解説を付した。

なお、採集年はすべて1996年、採集地は姫路市広嶺山、採集者は高島 昭である。

## マダラガ科(1種)

*Pidorus atratus* Butler ホタルガ 1♂, 23. VI.

## マドガ科(1種)

*Strigina cancellata* (Christoph) アカジマドガ 1♀, 22. VI; 1♂ 6. VII.

## メイガ科(14種)

*Cotachena pubescens* (Warren) スカシトガリノメイガ 1♂, 22. VI.

*Nacoleia commixta* (Butler) シロテンキノメイガ 1♂, 6. VII.

*Nacoleia satsumalis* South サツマキノメイガ 2♂, 6. VII.

*Sinibotys evenoralis* (Walker) セスジノメイガ 3♂, 22. VI.

*Circobotys aurealis* (Leech) キベリハネボソノメイガ 1♀, 22. VI; 1♂, 6. VII.

*Herpetogramma luctuosalis* (Guenée) モンキクロメイガ 1♂, 6. VII.

*Demobotys pervulgalis* (Hampson) トガリキノメイガ 3♂1♀, 22. VI.

*Teliphasa elegans* (Butler) ナカアオフトメイガ 1♂, 6. VII.

*Craneophora ficki* Christoph ナカムラサキフトメイガ 1♂, 6. VII.

*Stemmatophora valida* (Butler) トビイロフタスジ

シマメイガ 1♂3♀, 6. VII.

*Orthopygia placens* (Butler) ツマキシマメイガ  
1♂1♀, 6. VII.

*Endotricha portialis* Walker キベリトガリメイガ  
1♂, 6. VII.

*Endotricha olivacealis* (Bremer) ウスベニトガリメイガ  
3♂, 22. VI; 1♂, 6. VII.

*Nephoterix intercisella* Wileman ヤマトマダラメイガ  
1♂, 6. VII.

#### イラガ科(5種)

*Narosoideus flavidorsalis* (Staudinger) ナシイラガ  
1♂, 22. VI.

*Monema flavescens* Walker イラガ  
1♂, 22. VI; 1♂, 6. VII.

*Microleon longipalpis* Butler テングイラガ  
1♀, 22. VI.

*Phrixolepia sericea* Butler アカイラガ 1♂, 22. VI.  
*Natada takemurai* Inoue クロスジイラガ

1♀, 6. VII.

南方系の種で、三重県以西、四国、九州、沖縄と日本の太平洋岸沿いに分布している。県内ではこれまで淡路島の洲本市<sup>1)</sup>で1例の記録があるだけである。

#### カギバガ科(2種)

*Agnidra scabiosa* (Butler) マエキカギバ  
1♀, 22. VI.

*Macrocilix mysticata* (Walker) ウスギヌカギバ  
1♂, 6. VII.

#### トガリバガ科(1種)

*Tethea octogesima* (Butler) ホソトガリバ  
1♂, 6. VII.

#### シャクガ科(29種)

*Gelasma protrusa* (Butler) ヒメツバメアオシャク  
1♀, 6. VII.

*Gelasma grandificaria* (Graeser) ハガタツバメアオシャク  
1♀, 22. VI.

*Nipponogelasma lucia* (Thierry-Mieg) スジツバメアオシャク  
1♀, 6. VII.

北方系の少ない種で、兵庫県での記録はこれまで見あたらない。北海道、本州、四国北部に分布し、北海道ではアカトドマツを食樹としている。

*Comostola subtiliararia* (Bremer) コヨツメアオシャク  
1♂, 6. VII.

*Scopula nigropunctata* (Hufnagel) マエキヒメシャク  
1♂, 22. VI.

*Scopula epiorrhoe* Prout ギンバネヒメシャク  
1♀, 6. VII.

*Idaea nudaria* (Christoph) キヒメシャク  
1♂1♀, 22. VI.

これまで県下での記録はない。

*Sibatania mactata* (Felder & Rgenhofer) ピロードナミシャク  
1♀, 23. VI.

*Eupithecia addictata* Dietze ミジンカバナミシャク  
1♂, 6. VII.

*Lomograoha temerata* (Denis & Schiffermüller)  
バラシロエダシャク 2♂, 6. VII.

*Cabera purus* (Butler) コスジシロエダシャク  
1♀, 22. VI.

*Parabapta clarissa* (Butler) ウスアオエダシャク  
2♂, 22. VI.

*Plesiomorpha flaviceps* (Butler) マエキオエダシャク  
1♂, 22. VI; 1♂, 6. VII.

*Synegia limitatoides* Inoue スジハグルマエダシャク  
1♂, 6. VII.

*Synegia esther* Butler クロハグルマエダシャク  
1♂, 23. VI.

*Krananda semihyalina* Moore スカシエダシャク  
1♀, 22. VI.

*Cystidia stratonice* (Stoll) トンボエダシャク  
1♂, 23. VI.

*Antipercnia albinigrata* (Warren) ゴマダラシロエダシャク  
1♂, 23. VI.

*Hypomecis roboraria* (Denis & Schiffermüller)  
ハミスジエダシャク 1♂, 6. VII.

*Phthonosema tendinosaria* (Bremer) リンゴツノエダシヤク 1♂, 6. VII.

*Ophthalmitis albosignaria* (Bremer & Grey) ヨツメエダシヤク 1♂, 6. VII.

*Paradarisa chloauges* Prout ヒロバウスアオエダシヤク 2♂2♀, 22. VI.

*Menophra senilis* (Butler) ウスクモエダシヤク 1♂, 6. VII.

*Nothomiza formosa* (Butler) マエキトビエダシヤク 1♀, 6. VII.

*Garaeus specularis* Moore キバラエダシヤク 2♂, 6. VII.

*Endropiodes circumflexus* Inoue ツツジツマキリエダシヤク 1♂, 6. VII.

関東～中部、四国に分布するとされているが、近畿地方にも分布している。比較的少ない種で県内では上郡町(未発表)で1頭採集している。

県外では大阪府箕面市<sup>2)</sup>で記録がある。

*Plagodis dolablaris* (Linnaeus) ナカキエダシヤク 1♂, 6. VII.

*Plagodis pulveraria* (Linnaeus) コナフキエダシヤク 1♂, 6. VII.

*Ouraapteryx maculicaudaria* (Motschulsky) シロツバメエダシヤク 1♂, 22. VI.

#### アゲハモドキガ科(1種)

*Psychostrophia melanargia* Butler キンモンガ 1♂, 23. VI.

#### カレハガ科(1種)

*Dendrolimus sueprans* (Butler) マツカレハ 1♂, 6. VII.

#### ヤマムユガ科(1種)

*Actais artemis* (Bremer & Grey) オオミズアオ 1♂, 6. VII.

#### スズメガ科(5種)

*Clanis billineata* (Walker) トビイロスズメ 1♂, 6. VII.

*Marunba gaschkewitschii* (Bremer & Grey) モモスズメ 1♂, 6. VII.

*Marumba sperchius* (Ménétrières) クチバスズメ 1♂, 6. VII.

*Phillospingia dissimilis* (Bremer) エゾスズメ 1♂, 6. VII.

*Macroglossum saga* Butler クロホウジャク 1♂, 6. VII.

#### シャチホコガ科(14種)

*Quardicalcarifera cyanea* (Leech) オオアオシャチホコ 1♂, 6. VII.

*Cnethodonta grisescens* Staudinger バイバラシロシャチホコ 1♂, 6. VII.

*Harpia umbrosa* (Staudinger) ギンシャチホコ 1♀, 22. VI.

*Fentonia ocypete* (Bremer) ホソバシャチホコ 1♂, 6. VII.

*Phalera assimilis* (Bremer & Grey) ツマキシヤチホコ 1♂, 6. VII.

*Shaka atrovittatus* (Bremer) クビワシャチホコ 2♂, 6. VII.

*Rablala criatata* (Butler) セダカシャチホコ 1♂, 6. VII.

*Nimopydra pallida* (Butler) ウスキシャチホコ 1♂1♀, 6. VII.

*Peridea gigantea* Butler ナカキシヤチホコ 1♂, 6. VII.

*Peridea oberthueri* (Staudinger) ルリモンシャチホコ 1♀, 6. VII.

*Hiradonta tataonis* (Matsumura) タカオシャチホコ 1♂, 22. VI.

*Lophontesia pryeri* (Butler) プライヤエグリシャチホコ 1♀, 22. VI.

*Spatalia doerriesi* Graeser ウスイロギンモンシャチホコ 1♂, 22. VI; 1♂, 6. VII.

*Pterostoma sinicum* Moore オオエグリシャチホコ 1♂, 6. VII.

## ドクガ科(2種)

*Calliteara conjuncta* (Wileman) スズキドクガ  
1♂, 6. VII.

*Orgyia thyellina* Butler ヒメシロモンドクガ  
1♂, 22. VI.

## ヒトリガ科(4種)

*Ghoria gigantea* (Oberthür) キベリネズミホソバ  
1♂1♀, 22. VI; 1♀, 6. VII.

*Bizone hamata* Walker アカスジシロコケガ  
1♂, 6. VII.

*Miltochrista aberrans* Butler ハガタベニコケガ  
1♂, 22. VI.

*Lemyra flammeola* (Moore) アカヒトリ 1♂, 6. VII.

## ヤガ科(35種)

*Moma alpium* (Osbeck) ゴマケンモン  
1♂1♀, 22. VI.

*Gerbathodes angusta* (Butler) ヒメケンモン  
2♂, 22. VI; 1♂, 6. VII.

*Gerbathodes lichenodes* (Graeser) シロフヒメケン  
モン 2♂2♀, 6. VII.

日本産蛾類大図鑑ではやや局地的な種となっ  
ているが、西播地域ではよく見かけ、個体数も多い。

*Hylonycta catocaloida* (Graeser) キシタケンモン  
1♂, 6. VII.

冷温帯林に優勢な種で、ミズナラが食樹として  
知られ、県内では能勢妙見山<sup>3)</sup>と大屋町<sup>4)</sup>で記録  
がある。採集したものは新鮮な個体で、このよ  
うな低標高の丘陵地での記録は注目に値する。

*Lophonycta confusa* (Leech) アミメケンモン  
1♀, 6. VII.

*Sineugraphe bipartita* (Graeser) ウスイロカバ  
スジヤガ 1♂, 6. VII.

*Sineugraphe longipennis* (Boursin) オオカバ  
スジヤガ 1♂1♀, 22. VI, 1♂, 6. VII.

*Diarsia ruficauda* (Warren) ウスイロアカフヤガ  
1♂1♀, 6. VII.

*Triphaenopsis lucilla* Butler シロホシキシタヨト

ウ 1♂, 6. VII.

*Athetis lapidea* (Wileman) ヒメウスグロヨトウ  
1♀, 22. VI.

*Orthogonia sera* Felder ノコメセダカヨトウ  
1♂, 6. VII.

*Sphragifera biplaga* (Walker) コマルモンシロガ  
1♀, 6. VII.

*Gelastocera exustra* Butler クロオピリンガ  
1♀, 6. VII.

*Pseudoips prasinanus* (Linnaeus) アオスジアオリ  
ンガ 1♂, 6. VII.

*Corgatha argillacea* (Butler) カバイロシマコヤガ  
1♂, 6. VII.

*Sophta subrosa* (Butler) ウスベニコヤガ  
1♂, 22. VI.

*Neustrotia japonica* (Warren) マエモンコヤガ  
1♂, 6. VII.

*Catocala jonassii* Butler ジョナスキシタバ  
1♂, 6. VII.

時期が合わなかったのか飛来したカトカラは本  
種とマメキシタバ、オニベニシタバの3種であっ  
た。本種は県内での記録が少ない種で、氷ノ山<sup>5)</sup>  
<sup>6)</sup>、扇ノ山<sup>7)</sup>、三日月町<sup>8)</sup>で記録がある。ケヤキ  
を食樹とするので、綿密に調査すれば低山地での  
記録がもっと増えるものと思う。

*Mocis annetta* (Butler) ウンモンクチバ  
1♂, 6. VII.

*Ercheia umbrossa* Butler モンムラサキクチバ  
2♂, 6. VII.

*Lygephila maxima* (Bremer) クビグロクチバ  
1♀, 22. VI.

*Oraesia excavata* (Butler) アカエグリバ  
1♂, 22. VI.

*Sypnoides hercules* (Butler) アヤシラフクチバ  
1♂, 22. VI.

*Blasticorhinus ussuriensis* (Bremer) コウンモンク  
チバ 2♂, 6. VII.

*Pangrapta porphyrea* (Butler) ミツボシツマキリ

アツバ 1♀, 22. VI.

ハルニレ、オヒョウが食樹として知られ、県下では中央山地で記録がある。しかし、氷上郡柏原町や市島町<sup>9)</sup>や三日月町<sup>8)</sup>での記録もあり、おそらくケヤキも食樹として利用されているに違いない。

*Lophomilia polybapta* (Butler) キマダラアツバ

3♂, 6. VII.

*Goneptatica opalina* (Butler) フタスジエグリアツバ

1♂, 6. VII.

*Hepatica nakatanii* Sugi ナンキシマアツバ

1♂, 6. VII.

東海地方から九州の太平洋岸と対馬に分布している暖地系の種である。県下では南淡町<sup>10)</sup>で記録があるのみである。

*Diomea cremata* (Butler) ムラサキアツバ

1♂, 6. VII.

*Adrapsa simplex* Butler シラナミクロアツバ

1♂, 22. VI.

*Edessena hamada* C & R. Felder オオシラホシアツバ

1♂, 22. VI.

*Hadennia incongruens* Butler ハナマガリアツバ

1♂, 6. VII.

*Nodaria tristis* Butler ヒゲブトクロアツバ

2♀, 6. VII.

*Simplicia xanthoma* Prout ニセアカマエアツバ

1♀, 6. VII.

*Herminia arenosa* Butler ウスキミスジアツバ

1♂1♀, 22. VI.

計116種

以上のように普通種がほとんどで、とりたてて特徴的なものはないが、スジツバメアオシャク、キシタケンモンのように冷温帯に優勢な種やクロスジラガやナンキシマアツバのように南方系の種など、この地域としては注目に値する種も少しは採集できた。

姫路近辺は、蛾の分布調査があまり行われていない地域なので、思わぬ種が分布している可能性もあり、蛾相究明に向けて今後さらに調査を継続したい。

なお、蛇足ながら7月6日夜から未明にかけてのライトトラップに、ミズイロオナガシジミが数頭やってきた。このことはサロンニュースNo. 120の中でも紹介されているが、筆者も採集しているので報告しておく。周りは背の高いアベマキ、コナラ林で本種の生息地である。当日強風が吹いていたのでそれを避けてたまたま飛来したものか、光に対して反応したものかは不明であるが興味深い。

ミズイロオナガシジミ 1♂ 6. VII

#### <参考文献>

- 1) 登日邦明(1981)洲本市で採集された注目すべき蛾3種について PARNASSIUS(24):18-19.
- 2) 山本義丸(1996)箕面山蛾類目録 p. 113 誘蛾会・新潟
- 3) 夏秋 優・佐々木 昇(1984)能勢地方の蛾(Ⅲ) 妙見山・夏の蛾(1) Crude(25):15-22.
- 4) 遊磨正秀(1981)養父郡大屋町田淵山の蛾類について(1) きべりはむし 9(1):3-6.
- 5) 山本義丸(1956)氷ノ山の蛾について(第二報) 兵庫生物 3(3):121-123.
- 6) 奥谷禎一他(1974)中国山脈東端の昆虫相 東中国山地自然環境調査報告:173-191.
- 7) 谷田昌也(1986)扇ノ山の蛾類分布資料(1) IRATSUME 10:30-37.
- 8) 川副昭人(1987)佐用郡三日月町の蛾覚え書 てんとうむし(10):1-10.
- 9) 山本義丸(1996)兵庫県氷上地方の蛾類(1) きべりはむし 24(2):1-13.
- 10) 藤平 明(1987)南淡の蛾 自刊